

平成29年度 相談支援部会

【昨年度の経過】

○昨年度、部会の方針

H27年度に支援センターから上げられた、課題のある1事例をピックアップし、検討を進めて協議会へ提案する。
新たな部会員も多いため、インシデントプロセス法を用いた事例検討を行い、プロセスについて理解を深める。

○昨年度のポイント

栃尾地域の移動手段についての地域課題については、ワーキングに移行した。今回のワーキング移行を経て、運営会議で検討してもらうには、「いつまでに、どうしてほしいか？」などゴール設定を行うなど、まとめ方が課題とされた。

地域課題に対する「熱さ」を維持し、部会としてどうして欲しいかを明確にしてしっかりと伝えていくという意味でも、地域課題を感じた相談支援事業所(相談支援専門員)からの「手上げ方式」とする方向で検討。

【今年度の方針】

相談支援を行う中で、個別の事例から生じた地域課題を抽出する。

【具体的取り組み】

- 地域課題の抽出を、各相談支援事業所からの「手上げ方式」で行う。
- 手上げ方式で事例が提案されなかった場合や地域課題なのかどうか判断に迷う場合には、地域課題を上げるためのサポートを基幹センターが行う。
- 提案があった場合には、2回の部会でまとめまで行う。
ゴール設定やワーキングメンバーの素案までまとめを行い、運営会議に提案する。
- 検討プロセスの再検討。